

新井用水路ウォーク
蓮池小4年生

平成30年10月6日(土)
8:30~16:00

加古川大堰

加古川大堰に着いて、大堰管理事務所の説明を聞きました。DVDによる大堰の役割や仕組みを勉強しました。洪水が起きそうなとき、微調整ゲートや主ゲートはどのような働きをするか上手に説明していただきました。その後、実際に主ゲートに向かい、実物を見て説明していただきました。説明を聞く子、ゲートをのぞき込む子自由に動きながら学習しました。



大堰で遮られて魚が上流に登れなくなってしまうように魚道が作られています。この日は連日の台風の影響か？水量が多かったです。



次に実際に加古川の水質検査をしました。初めての体験でみんな興味津々でした。



水路の起点(新井水路・五ヶ井水路)

次に水路起点へ行きました。右が五ヶ井水路で左が新井水路です。新井水路は五ヶ井水路から1/6の水量をもらっています。語り部の佐伯さんが熱心に説明していただきました。



神野西 (曇川の埋樋)

神野西の埋樋(うずみび)の入口に来ました。その後埋樋の出口を見たり、旧ゲートの跡を見たりしました。



途中で、福原さんから、逆サイホンの実験をしていただきました。川の下を水路が通り、再び上がってきて川の反対側へ水を通す仕組みです。ほんとに昔の人は良くここまで考えて作ったんだと思いました。



日岡公園で弁当タイムを過ごした後、大野地区の昔のままの洗い場などが残っている新井緑道を歩きました。



大中 (喜瀬川の埋樋)

大中の埋樋(うずみび)の入口に来ました。金属の刃が突き出ている除塵機(じょじんき)の仕組みもよく分かりました。実際に水が流れているときは、刈った草やプラゴミ、ビニール魚の死骸など、いっぱいたまることがあります。水路にゴミを捨てないでほしいですね。



古宮 (大池・薬師堂)

新井水路の終着点は、播磨町古宮です。加古川大堰から延々14kmの道のりです。大池には今里傳兵衛の偉業を称えて石碑が建っています。傳兵衛の墓は薬師堂の中にあります。



開通のお礼に参上したとき、藩王忠次はその功績をたたえ、傳兵衛の願いを聞きませぬ。その際、「大変な恩恵をいただきながら欲しいものなど毛頭ございませぬ。何とぞ新溝が永代異変なく存続していくよう、それだけを心から願っております」と答えています。